

探鳥会スタッフ通信

2015年 4月号

「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

目次

- ◆探鳥会訪問記 特別編
(香川県支部・リーダー研修会参加報告)・1
- ◆徳島県支部からの情報
「探鳥会の年間スケジュールのピラ配布を始めました」・・・3
- ◆探鳥会保険集計結果
(2015年2月分)・・・4

◆普及室からのお知らせ

- ・新たな『フィールドガイド日本の野鳥』に向けて増補改訂新版の取り組み・・・6
- ◆今月の購読者数・・・8
- ◆探鳥会スタッフ通信の購読について・・・9
- ◆編集後記・・・9

◆探鳥会訪問記 特別編 (香川県支部・リーダー研修会参加報告)

香川県支部で、初心者を対象とした探鳥会の企画や運営スキルを向上させるための「リーダー研修会」が開催されました。近年支部では、学校や自治体などからの探鳥会依頼が増加しており、矢本支部長から普及室に講師依頼をいただき、開催の運びとなりました。

研修会の内容を報告します。

◆概要

- 【日時】2015年3月22日(日)
10時～16時
- 【場所】香川県高松市(讃岐会館、栗林公園)
- 【講師】普及室/箱田敦只、堀本理華
- 【参加者】19名(香川県支部18名、徳島県支部1名)
- 【スケジュール】
 - 10:00 開会、矢本支部長挨拶
 - 10:10 講義「振り返ってみようリーダーの言動」
 - 10:25 グループワーク「初心者対応の留意点」
 - 11:30 昼食
 - 12:30 屋内プログラム「神秘の羽」
 - 13:10 屋外実習「初心者向け探鳥会の下見を実施してみよう」
 - 13:40 屋外プログラム「野鳥ビンゴゲーム」

- 14:20 まとめ
- 14:45 財団普及室として考えていることについて情報共有
- 15:40 質疑応答
- 16:00 閉会



▲グループワークの様子

◆講義「振り返ってみようリーダーの言動」

日本野鳥の会埼玉がリーダー研修会で使用した「これって、どう思う? 探鳥会で見かけた<問題リーダー>」という資料の読み合わせを行い、リーダーとしての行動を振り返りました。

参考：探鳥会スタッフ通信 10月号

<http://www.wbsj.org/info/shibu/tancho/staff201310.pdf>

◆グループワーク「初心者対応の留意点」

グループワークに入る前に、パワーポイントを使い、探鳥会の参加者について、会員と非会員、バードウォッチングの経験という二軸でみていきました。そして初心者を対象とすることの大切さについて、公益活動（広く一般の利益のための活動）としての性格を強化することと、裾野を広げて組織維持に繋げるという視点から確認しました。また、「双眼鏡での観察経験がない」「慣れない場で疎外感を感じている」など、初心者の特性について考えました。

次に3グループに分かれて、初心者対応の留意点を整理するグループワークを行いました。各自、思いついた留意点を書きだし、模造紙に貼ってグループ内で共有しました。最後にグループごとに発表し、全体で共有しました。

「集合時に声かけをする」「探鳥会の流れの説明をする」、「詰め込み過ぎず、身近な種を説明する」などの意見が、グループ共通であがっていました。

◆屋内プログラム「神秘の羽」

野鳥は観察に距離を必要とする生きもので、持つことも触ることも出来ません。屋内プログラムは、「持てない」「触れない」体験を補完し、観察に必要な想像力を育むうえで有効です。

ここでは小学生高学年向けのプログラムの例として、『身近な野鳥ティーチャーズガイド』から「神秘の羽」を実演紹介し、初列風切羽の役割や羽の微細構造、撥水機能を体験しました。

◆屋外実習「初心者向け探鳥会の下見」

「栗林公園」で、初心者を対象とした探鳥会を開催することを想定し、下見を行いました。園内を歩き、「安全管理上気を付けること」や

「観察に適した場所」、「観察対象」などについて、気づいたことを各自園内マップに書き込み、最後に共有しました。



▲下見のあとの共有の様子

◆屋外実習「野鳥ビンゴゲーム」

普段見ている野鳥でも、行動をよく観察してみると新たな発見があります。行動の観察は、種名の同定に比べて初心者にとっても参加しやすく、楽しいものです。

「花のみつをなめる」「地面で食べ物を探す」など、野鳥のしぐさをテーマにしたビンゴゲームを実際に体験しました。

◆まとめ

今回研修会で使用した「栗林公園」は、香川県支部の2カ所ある定例探鳥会の開催場所の1つです。国の特別名勝にも指定された庭園であり、駅からのアクセスもよく、毎回探鳥会には多くの参加者が参加されるそうです。初心者の方も20名弱参加があり、支部では初心者グループを作って対応されているそうです。

研修会には、普段探鳥会リーダーをされているほとんどの役員の方が参加してくださり、各々のリーダーから活発な意見があがっていました。

(普及室／堀本理華)

普及室では、非会員を対象とした探鳥会のためのリーダー研修会を行っています。tancho-staff@wbsj.org までお気軽にご相談ください。

◆徳島県支部からの情報

徳島県支部では、一昨年前から、定例探鳥会の年間スケジュールのピラを作成し、年間 1,000 部配布しています。徳島県支部の普及編集部、高井正明さんから情報をいただきました。

「探鳥会の年間スケジュールのピラ配布を始めました」

■経緯

20 年程前から、徳島県支部では、探鳥会に参加した非会員に、2 か月分の支部報をお送りし、次の探鳥会への参加を勧めてきました。探鳥会に 2 回以上続けて来られた方には、「そろそろ、いかがですか？」と入会を勧めて、会員増につなげてきました。

もっと多くの非会員に、まずは探鳥会に参加してもらうことが課題となっていました。

■もっと非会員の参加を

そこで、探鳥会への非会員の集客を増やすために、2013 年度からは、定例探鳥会（出島、吉野川河口、大麻山、海老ヶ池、眉山の 5 箇所）の年間スケジュールのピラの配布を開始しました。

野鳥観察会のご案内
(2014年5月～2015年4月)
参加無料 ★初心者大歓迎★

出島 探鳥会	吉野川河口 探鳥会	大麻山 探鳥会	眉山 探鳥会	海老ヶ池 探鳥会
第31回(日) 9:00～11:00(90分)	第31回(日) 9:00～11:00(90分)	第4土曜(日) 9:00～11:00(90分)	第4土曜(日) 9:00～11:00(90分)	第4土曜(日) 9:00～11:00(90分)
月 11 出島探鳥会 2 12 出島探鳥会 3 13 出島探鳥会 4 14 出島探鳥会 5 15 出島探鳥会 6 16 出島探鳥会 7 17 出島探鳥会 8 18 出島探鳥会 9 19 出島探鳥会 10 20 出島探鳥会 11 21 出島探鳥会 12 22 出島探鳥会	月 11 出島探鳥会 2 12 出島探鳥会 3 13 出島探鳥会 4 14 出島探鳥会 5 15 出島探鳥会 6 16 出島探鳥会 7 17 出島探鳥会 8 18 出島探鳥会 9 19 出島探鳥会 10 20 出島探鳥会 11 21 出島探鳥会 12 22 出島探鳥会	月 11 出島探鳥会 2 12 出島探鳥会 3 13 出島探鳥会 4 14 出島探鳥会 5 15 出島探鳥会 6 16 出島探鳥会 7 17 出島探鳥会 8 18 出島探鳥会 9 19 出島探鳥会 10 20 出島探鳥会 11 21 出島探鳥会 12 22 出島探鳥会	月 11 出島探鳥会 2 12 出島探鳥会 3 13 出島探鳥会 4 14 出島探鳥会 5 15 出島探鳥会 6 16 出島探鳥会 7 17 出島探鳥会 8 18 出島探鳥会 9 19 出島探鳥会 10 20 出島探鳥会 11 21 出島探鳥会 12 22 出島探鳥会	月 11 出島探鳥会 2 12 出島探鳥会 3 13 出島探鳥会 4 14 出島探鳥会 5 15 出島探鳥会 6 16 出島探鳥会 7 17 出島探鳥会 8 18 出島探鳥会 9 19 出島探鳥会 10 20 出島探鳥会 11 21 出島探鳥会 12 22 出島探鳥会

「わたしも今日からバードウォッチャー」
日本野鳥の会 徳島県支部
Tel.088-633-0180

▲2014 年度版の野鳥観察会のご案内 (A4)

■ピラの配布方法

ピラは、年間 1,000 部作成し、支部会報に同封して支部会員に配布するだけに止まらず、探鳥会に参加された非会員のみなさんには必ず配布しています。さらに、出島野鳥園観察舎にはもちろんのこと、徳島市立植物園での野鳥写真展示などのイベント出展時や、道の駅、福祉センターにも数十部単位で置いてもらっています。

■効果

この行事予定表の配布は、地元新聞情報欄への探鳥会行事予定掲載と相まって、確実に探鳥会参加者を増やしているようです。

■今後の展望

手短な説明の中で、集合場所を説明するのが難しく感じています。はじめての方にも、お出でいただきやすい案内にすることを心がけており、2014 年度版は場所の説明を分かりやすく工夫しました。

一方で企画運営のしやすい定例探鳥会は、徳島県の県東部に偏って設定されています。今後は、県西部などにも定例探鳥地ができるように手を打っていきたいと思っています。まずは、スポット的に臨時探鳥会を実施してみて、定例化に繋げることを考えています。

(まとめ：普及室／堀本理華)

◆探鳥会保険集計結果（2015年2月分）

2月は67支部からご報告をいただき、計265回の探鳥会が開催され、のべ6,142人が参加されました。

表1.2月の探鳥会保険集計結果（2015年3月15日現在）

支部	開催回数 (回)	参加者数		スタッフ数 (人)	合計人数 (人)
		会員(人)	非会員(人)		
小清水	-	-	-	-	-
オホーツク支部	0	0	0	0	0
根室支部	-	-	-	-	-
釧路支部	0	0	0	0	0
NPO法人日本野鳥の会十勝支部	-	-	-	-	-
旭川支部	1	7	0	1	8
滝川支部	1	13	0	2	15
道北支部	0	0	0	0	0
江別支部	-	-	-	-	-
札幌支部	3	63	25	6	94
小樽支部	2	4	3	2	9
苫小牧支部	-	-	-	-	-
室蘭支部	1	20	1	3	24
函館支部	-	-	-	-	-
道南桧山	1	11	4	2	17
青森県支部	-	-	-	-	-
弘前支部	2	14	3	2	19
秋田県支部	5	62	16	6	84
山形県支部	1	16	15	1	32
宮古支部	-	-	-	-	-
もりおか	1	15	6	3	24
北上支部	2	15	1	3	19
宮城県支部	4	40	18	10	68
ふくしま	2	37	0	4	41
郡山支部	2	36	0	5	41
二本松	2	4	1	2	7
白河支部	1	6	0	4	10
会津支部	-	-	-	-	-
奥会津連合	-	-	-	-	-
いわき支部	1	21	2	1	24
福島県相双支部	-	-	-	-	-
南相馬	-	-	-	-	-
茨城県	14	168	91	21	280
栃木	-	-	-	-	-
群馬	6	66	33	24	123
吾妻	-	-	-	-	-
埼玉	13	291	84	93	468
千葉県	11	154	41	48	243
東京	15	539	9	69	617
奥多摩支部	19	250	46	56	352
神奈川支部	14	210	59	46	315
新潟県	1	18	2	2	22
佐渡支部	-	-	-	-	-

富山	2	40	6	2	48
石川	2	49	0	5	54
福井県	1	6	0	1	7
長野支部	2	48	7	4	59
軽井沢支部	0	0	0	0	0
諏訪	0	0	0	0	0
木曾支部	-	-	-	-	-
伊那谷支部	-	-	-	-	-
甲府支部	2	43	1	3	47
富士山麓支部	0	0	0	0	0
東富士	-	-	-	-	-
沼津支部	2	22	7	3	32
南富士支部	2	66	11	3	80
南伊豆	1	9	0	2	11
静岡支部	5	66	0	8	74
遠江	4	76	13	12	101
愛知県支部	13	137	121	33	291
岐阜	-	-	-	-	-
三重	1	7	0	1	8
奈良支部	4	151	0	8	159
和歌山県支部	1	6	7	2	15
滋賀	5	33	61	10	104
京都支部	4	52	31	10	93
大阪支部	23	331	82	104	517
ひょうご	8	91	96	29	216
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	3	20	7	3	30
島根県支部	2	21	11	2	34
岡山県支部	6	134	55	19	208
広島県支部	4	46	58	17	121
山口県支部	3	21	16	4	41
香川県支部	3	87	73	3	163
徳島県支部	5	53	9	5	67
高知支部	2	23	30	2	55
愛媛	4	33	50	8	91
北九州	3	33	3	3	39
福岡支部	6	124	18	14	156
筑豊支部	4	34	2	4	40
筑後支部	4	36	9	4	49
佐賀県支部	1	9	3	1	13
長崎県支部	-	-	-	-	-
熊本県支部	3	45	12	4	61
大分県支部	1	11	4	1	16
宮崎県支部	2	17	15	2	34
鹿児島	2	27	18	7	52
やんばる支部	-	-	-	-	-
石垣島支部	-	-	-	-	-
西表支部	-	-	-	0	0
全国	265	4,087	1,296	759	6,142

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

(普及室)

◆普及室からのお知らせ

■新たな『フィールドガイド日本の野鳥』に向けて増補改訂新版の取り組み■

お待たせしております新版は色校正の段階を迎えています。発行につきましては当ホームページにてお知らせさせていただくことでご容赦いただき、裏話を続けます。

◇ムシクイは声でわかる？

文字原稿で最後に悩んだのは、「参考文献をどこまで記すか？」でした。目を通すだけならほとんどの文献をチェックしてきましたので、何頁あってもすべて記すことはできません。また、歴史的な著作ですから、原著の参考文献も省くことはしませんでした。文字通り、修正や追記の原稿で参考にしたものを書き足して参考文献とした結果、製版の構成の事情から2頁分の余白が生じてしまいました。

「メモを書き込む余白もあった方がよい」という要望をいただいていたので検討しましたが、1頁分は声が必要な識別点になるムシクイ科の16種を中心に、地鳴きの一覧を作成しました。もちろん、地鳴きだけですべて識別できるわけではありません。が、識別依頼の写真が送りつけられてくるものの、声についての情報が一切ないので困ることが増えています。声の重要性や聞き分け方などを知っていただきたいと考えた次第です。

「同じ鳥でも違った声を出すこともある」「カタカナ表記ではうまく表せないものがある」「条件や人による聞こえ方の違いもある」「まずは身近な鳥から声の質や鳴き方を比べられるようにするなど経験を積むことが大切」などをリード文に入れ、識別に役立つ地域、季節、環境など補足もしましたが、一部を抜粋して紹介しましょう。

ムシクイ科

- 分布が広い夏鳥（春と秋の渡り途中は身近な緑地にもいる）
 - ・センダイムシクイ：フィッ、フィッと比較的柔らかい声。
 - ・エゾムシクイ：ピッ、ピッとセンダイムシクイより強い声。
 - ・メボソムシクイ：リュッ、リュッリュッなどと比較的低い声。
- 伊豆諸島とトカラ列島で夏鳥

- ・イイジマムシクイ：ヒーと鋭い感じがする。
- 各地を通過する旅鳥
 - ・オオムシクイ：ジッ、ジジッなどと硬い感じがする。
 - ・コムシクイ：ピッ、ピピッなどとやや高い声。
 - ・アムールムシクイ：ピッとエゾムシクイに似ているが、より高い声。
- 少ない旅鳥・冬鳥
 - ・カラフトムシクイ：チュイとキマユムシクイと比べると柔らかい声。
 - ・キマユムシクイ：チューイーと尻上がりで、メジロに似ている。
 - ・ムジセッカ：チェック、チェックあるいはチャッ、チャッとウグイスより弱い声。
- まれな旅鳥・迷鳥
 - ・カラフトムジセッカ：タッ、タッとムジセッカと比べると柔らかい感じの声でわかることがある。

センニュウ科やヨシキリ科

- ・オオセッカ：ジリリとかチュッ、チュッなど図鑑によってさまざまな記載があるが、ウグイスほど強く濁った声ではない。
- ・オオヨシキリ：ゲッあるいはジェッなどとやや濁った声。
- ・コヨシキリ：ジッあるいはカッなどオオヨシキリより弱い声。

◇英名にジャパニーズがつくわけは？

新版の中身は細部に至るまで変わりますが、野鳥の会の財産である高野著作を継承するために、表紙や体裁は大きくは変えないことになりました。増補改訂版でも変えていませんが背表紙はヒレンジャク、裏表紙はアオゲラです。なぜ、キレンジャクやアカゲラでないのかは、おわかりいただけますか？それぞれ Japanese Waxwing、Japanese Green Woodpecker と呼ばれるように前者は日本近辺にしか分布せず、後者は日本固有種です。表紙に登場するキビタキにしても、繁殖地はほとんど日本列島と言えます（マミジロキビタキは日本では稀でも、朝鮮半島や大陸には普通）。

英名は和名と同じく俗名で、複数あったり、国によって違うこともあるので、図鑑で重要な

のは万国共通の学名です。が、要望も寄せられていたために、増補改訂版では主な種の英名を和名さくいんに載せました。その際、目録6版に記された英名としたため、新版では目録7版で記された英名に修正しました。

目録7版でタンチョウの英名からジャパニーズがとれたことは、すでに正富宏之さんが野鳥誌(2102年12月号)のエッセイで紹介されていますが、新たにジャパニーズが付いた種もあります。シジュウカラ(Great Tit)、メボソムシクイ(Arctic Warbler)、サンコウチョウ(Black Paradise Flycatcher)、クロツグミ(Grey Thrush)、イカル(Masked Grosbeak)などで、()は目録6版での英名です。最初の2種は分類が変わったことで分布の中心が日本となったためですが、ほかにも分布図を見ると納得いただけることでしょう。

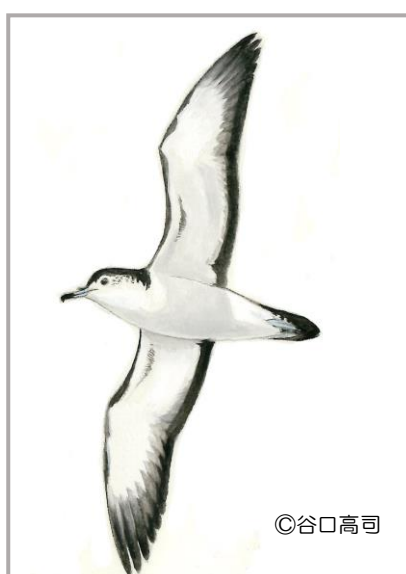
目録7版について解説した野鳥誌(2013年2・3月号)でシジュウカラやカルガモの学名の変更、ミサゴの英名の変更について書かまし

たが、英名ではカルガモ(Spot-billed Duck)にEastern、イワツバメ(House Martin)にAsianがついたことも解説しておきましょう。

カルガモは2013年の野鳥誌で書いたように、別亜種とされてきたインドやスリランカのカルガモが別種となったこと、イワツバメもニシイワツバメが別種となったことを反映させたためです。ちなみに、増補改訂版ではイワツバメ類似種の項目に「下面に灰褐色味がなくて上尾筒まで白い」としてニシイワツバメを追記したものの、学名はイワツバメの亜種としての学名を記していたので、新版では種としての学名に直しました。

そのほか、ムクドリ(Gray Starling)はWhite-cheeked Starlingに、ハシブトガラス(Jungle Crow)はLarge-billed Crowになど、新版の英名はすべて7版に沿わせました。

(普及室/安西英明)



▲目録7版における新たな掲載種の図版を、担当された谷口高司さんの了解を得て紹介していますが、今回はオガサワラヒメミスナギドリです。写真図鑑などではわかりにくい青味のある足、黒い下尾筒などの特徴がわかるように描いていただいています。

◆今月の購読者数

探鳥会スタッフ通信4月号の電子メール版の購読者数は、先月から3名増えて854名です。支部ごとの購読者数は以下の通りです。

表2. 探鳥会スタッフ通信4月号電子メール版の購読者数(2015年4月14日現在)

支部	購読者数	支部	購読者数
小清水	1	福井県	10
オホーツク支部	6	長野支部	2
根室支部	0	軽井沢支部	2
釧路支部	2	諏訪	4
NPO法人日本野鳥の会十勝支部	70	木曽支部	1
旭川支部	4	伊那谷支部	1
滝川支部	1	甲府支部	1
道北支部	1	富士山麓支部	0
江別支部	0	東富士	0
札幌支部	4	沼津支部	3
小樽支部	3	南富士支部	2
苫小牧支部	2	南伊豆	2
室蘭支部	4	静岡支部	3
函館支部	0	遠江	6
道南松山	2	愛知県支部	33
青森県支部	1	岐阜	5
弘前支部	4	三重	19
秋田県支部	3	奈良支部	1
山形県支部	3	和歌山県支部	2
宮古支部	1	滋賀	19
もりおか	3	京都支部	132
北上支部	2	大阪支部	22
宮城県支部	39	ひょうご	9
ふくしま	2	NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	11
郡山支部	1	島根県支部	2
二本松	1	岡山県支部	23
白河支部	2	広島県支部	7
会津支部	2	山口県支部	4
奥会津連合	0	香川県支部	5
いわき支部	1	徳島県支部	5
福島県相双支部	0	高知支部	1
南相馬	0	愛媛	14
茨城県	21	北九州	12
栃木	45	福岡支部	12
群馬	24	筑豊支部	20
吾妻	1	筑後支部	6
埼玉	36	佐賀県支部	4
千葉県	18	長崎県支部	1
東京	49	熊本県支部	5
奥多摩支部	47	太分県支部	2
神奈川支部	18	宮崎県支部	3
新潟県	1	鹿児島	1
佐渡支部	1	やんばる支部	0
富山	3	石垣島支部	1
石川	5	西表支部	2
		合計	854

(普及室)

◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の購読について

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも購読できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのアド

レス）を記入し、tancho-staff@wbsj.orgへお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.orgまでお知らせください。

★編集後記

東京近辺ではそろそろ夏鳥たちがやってきて、美しい新緑と共にキビタキやオオルリの声が響いて華やかな季節になってきました。GWに向けて、探鳥会をするにはいい季節ですね。

全国一斉探鳥会へ向け、準備にお忙しい支部もあることと思いますが、是非沢山の方に楽しんで頂きたいと思いますので、宜しくお願い致します。

最後になりましたが、今月より編集を担当させて頂くこととなりました。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

（普及室／植木陽子）

日本野鳥の会

探鳥会スタッフ通信 第25号

◆発行

(公財) 日本野鳥の会 2015年4月16日

◆担当

普及室 普及教育グループ

〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2622

FAX : 03-5436-2635

E-mail : tancho-staff@wbsj.org
